桑名市におけるシェアサイクル事業の取り組み

～地元企業のオフィシャルパートナーシップ（協賛）によるエリア展開～



桑名市 KUWANA CITY

事業フィールド：三重県桑名市



2023年10月にチャリチャリとシェアサイクルに関する事業に関する協定を締結。市街地での移動の活性化、日常生活の移動範囲の拡大を目的に、市内中心部にある観光アセットへの回遊性向上に向けて連携を行っています。さらに自治体側はシェアサイクルポートとして公共施設・公用地を活用するなどのサポートを行っています。

コラボ・ラボ桑名

桑名市の社会課題・地域課題の解決を目指し、民間事業者と対話を行い、相互の知恵とノウハウを結集して新たな解決方法・価値を創出することを目的とした対話窓口。シェアサイクル事業は、通常複数の部署にまたいだ折衝・調整が必要となりますが、本窓口を活用することで、窓口が一本化されスムーズかつ効率的なプロジェクトの推進ができ、協定締結から半年のスピードで、本事業のサービス開始が実現しました。

シェアサイクルの運営サポート

シェアサイクルポートとして公用地の活用

NTN Make the world NAMERAKA

地域オフィシャルパートナー：NTN 株式会社 桑名製作所



地域のオフィシャルパートナーとして、シェアサイクルの運営資金をバックアップ。自転車整備・再配置など地域で必要となる業務に協賛金が活用されます。
チャリチャリへのパートナーシップを通じ、地域住民をはじめ、観光や商用などで市を訪れる方々に自転車による安全で快適な移動体験を提供するとともに、回遊性を高めることで街の魅力を一層引き出し、活気ある街づくりに寄与します。
また、カーボンニュートラルな社会を実現するために、今後チャリチャリとNTN双方の持つ強みを活かし、協働することで、桑名市の持続的な発展に貢献していきます。

シェアサイクルのパートナーとしてサポート

今回のパートナーシップの取り組みの中では、シェアサイクル車体および駐輪ポートに設置する看板へロゴ掲出等のプロモーションを実施するほか、今後「地域公共交通の活性化」「環境負荷の軽減」「地域コミュニティへの貢献」「地域社会との共創」「健康社会への貢献」の5つのテーマの実現に向けてチャリチャリと連携して取り組みます。





地域社会への貢献 / 脱炭素社会等の環境への貢献

Charichari

シェアサイクル事業者：チャリチャリ株式会社

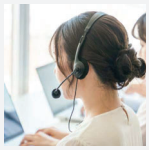
自転車車体の提供



ソフトウェアの開発・提供



カスタマーサポート



シェアサイクル事業者として車体・アプリ等のハードウェア・ソフトウェアの開発・提供、カスタマーサポート等の運営基盤の提供をしています。

シェアサイクルの運営

巡回・整備等の業務を委託

運営パートナー：中村自転車商会（桑名）

地域に拠点を構える自転車整備・販売店が、日常的な巡回・整備を受託。
ともに取り組むことで、地域に根ざした運営ができることに加え、地域の自転車産業の振興に寄与します。



地域に根ざした運営



六華苑

柿安コミュニティパーク

自転車観光ルートの発信

記事をチェック!

多言語旅行Webメディア上に自転車で巡る観光ルートの紹介記事を作成。
桑名市長の案内による、自転車だからこそ感じられる桑名の魅力を発信。





Charichari



国内9エリアでチャリチャリを展開

福岡 FUKUOKA	名古屋 NAGOYA	東京 TOKYO	熊本 KUMAMOTO
2018年サービス開始	2020年サービス開始	2020年サービス開始	2022年サービス開始
自転車台数 4,700台 > ポート数 753ポート	自転車台数 850台 > ポート数 320ポート	自転車台数 200台 > ポート数 57ポート	自転車台数 1,500台 > ポート数 389ポート

久留米 KURUME	桑名 KUWANA	佐賀 SAGA	天草 AMAKUSA
2024年サービス開始	2024年サービス開始	2024年サービス開始	2024年サービス開始
自転車台数 190台 > ポート数 48ポート	自転車台数 20台 > ポート数 9ポート	自転車台数 150台 > ポート数 35ポート	自転車台数 30台 > ポート数 9ポート

菊陽 KIKUYO
2024年サービス開始
自転車台数 50台 > ポート数 13ポート

各エリアのポートをチェック

Charichari History

メルチャリ → Charichari → チャリチャリ

2018年2月	福岡市内で「メルチャリ」としてサービス開始
2018年6月	福岡市との実証実験開始
2019年7月	neuet 株式会社を設立
2019年8月	クララオンライングループに参画
2020年4月	福岡市との共同事業開始「チャリチャリ」にリブランド
2021年10月	電動アシスト自転車の供用開始
2022年4月	熊本市との共同事業により熊本市でのサービス開始
2022年8月	福岡市が累計1,000万回政令市最速での達成
2022年10月	福岡市に本店移転
2022年12月	JR九州と包括連携協定締結
2023年2月	アビスパ福岡と社会連携活動開始
2023年4月	熊本市と災害連携協定締結
	熊本ヴォルターズ・JR九州熊本支社と連携協定締結（熊本市・熊本県後援）
2023年7月	東京都台東区と協定を締結
2023年9月	三菱UFJ信託銀行が国内初となる自転車を裏付とした信託商品組成
2023年10月	三重県桑名市と包括連携協定を締結
2023年11月	福岡県久留米市と包括連携協定を締結
2023年12月	JAF九州本部と交通安全活動の推進を目的とした連携協定を締結
2024年3月	熊本県と包括連結協定締結
2024年4月	チャリチャリ株式会社に社名変更
	久留米市でサービス開始
	佐賀市と協定締結
	桑名市でサービス開始
2024年5月	佐賀市でサービス開始
2024年8月	熊本県天草市でサービス開始
	熊本県菊陽町と協定締結
2024年10月	熊本県菊陽町でサービス開始
	台湾 YouBike との MOU 締結

赤い自転車が、まちの移動の日常に

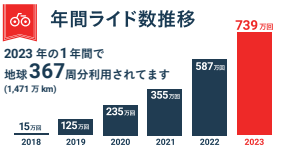
チャリチャリデータ 2024

日次ライド数
> 33,000 回
国内最高水準の自転車回転率を誇ります

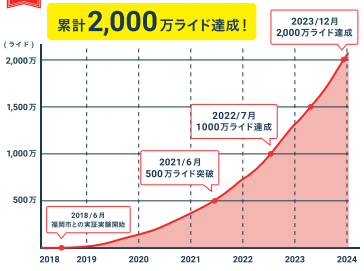
ご登録アカウント数
> 112 万ユーザ
多くのお客さまにご登録いただいています

累計ライド数
> 2,800 万回
国内最速ペースで成長中！

年間ライド数推移
2023年の1年間で地球367周分利用されてます（1,471万km）

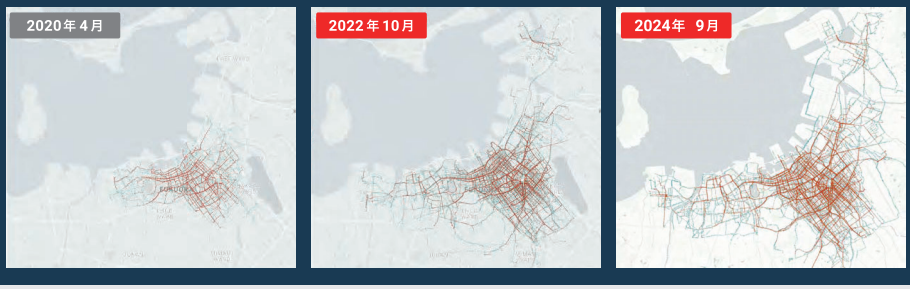


累計ライド数の推移
累計2,000万ライド達成！



チャリチャリの利用の変化

福岡エリア / 平日朝8時～9時の1時間の利用実績をマッピング



JR九州とチャリチャリの包括連携協定を締結



「LINE」を活用したチャリチャリ駐輪ポートのリクエストの協働企画を展開

LINEヤフーコミュニケーションズ



アビスパ福岡のシャレンパートナーとして地域貢献活動を展開（サポーターサイクルプロジェクト）



熊本県菊陽町におけるオフィシャルパートナー 地域活性化・交通課題解決で連携

肥後銀行



1分から使える、気軽な自転車



ベーシック 7円/分



電動アシスト 17円/分

使い方はかんたん3ステップ



1. QRコードで鍵をあける
2. 駐輪ポートまでライド
3. 鍵をしめて終了！

Get a free app download
まず無料アプリをダウンロード！

チャリチャリ

https://charichari.bike

Download on the App Store

GET IT ON Google Play



YUIEN
出雲シェアサイクル ゆいえん

「ゆいえん」は誰でも気軽に利用できる公共シェアサイクルです

利用料金

最大料金 1日あたり **1,100円**
0時0分～23時59分まで

利用開始 **60分 / 220円**
60分以降は **30分 / 110円**

走行距離目安▶フル充電時40km走行アシスト可能

予約

アプリから利用したいサイクルポートの自転車を予約する
（ご利用20分前からご予約できます）
※1日乗車パスカード（1,100円）は近くの観光案内所で購入可（現金のみ）

※自転車運転時はヘルメットの着用が努力義務化されています
ヘルメット貸出場所はHPをご確認ください

アプリをダウンロード

GET IT ON Google Play
Download on the App Store

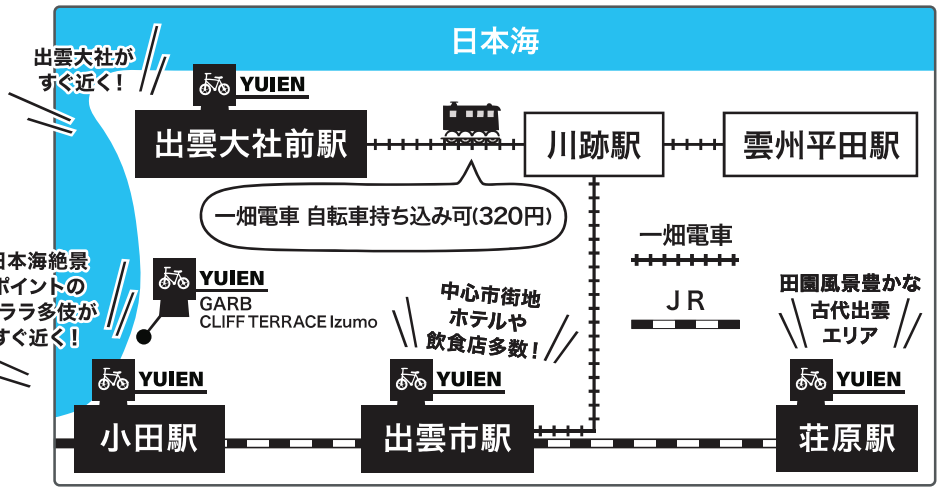
実証実験運用期間

2024年
9/1(日)～11/30(土)

出雲神話の国を
ホワイトの電動アシスト自転車
「ゆいえん」で
楽しんでみませんか！

ゆいえんポート設置箇所

※既存レンタサイクル貸し出し場所は雲州平田駅、出雲市駅、佐田スサノオホールにもあります



- 保険加入
  保険加入で万が一の事故の際にも安心です！
- 電動アシスト自転車
  強風や坂道、長距離でもラクラク安心です！
- 1日乗車パスならワンタッチで簡単レンタル

シェアサイクルのご利用についての詳細はHPよりご確認ください

HPはこちら

問い合わせ先
出雲シェアサイクルゆいえん事務局
出雲シェアサイクル YUIEN
〒693-0004 島根県出雲市渡橋町416
Mail：yuien_sharecycle@ml.jp.panasonic.com

実施主体：出雲市観光課
運営主体：山陰パナソニック株式会社
システム提供：ドコモ・バイクシェア株式会社
運営サポート：株式会社日本海コンサルタント

コールセンター
24時間受付
050-3531-6108

〈このデザインはわたしたちがバディを組んで制作しました〉
今岡凜太郎 SAKAMOTO 中尾真紀子 森山晋也 Nezyumie 長岡真弓（特定非営利活動法人 サポートセンターどりーむ） Buddy Art. Project.

pairs
Sponsored by
docomo business

Marushi

シェアバイクも丸石サイクル

SINCE 1894



回生充電で最大1000km走行可能

電動アシストは自ら充電する時代

ご要望にお答えします！

- パンクレスタイヤ
- 簡単調節シートポスト
- 大型ドレスガード
- 防サビコーティング

etc

THE 電動アシスト 革命始動!

CHACLE
with airless tires

ラフート rafoot



1回の充電で**1,000km走れる**回生電動アシストシステム『FEREMO(フェリモ)』と**絶対にパンクしない**空気入れ不要のエアレスタイヤを搭載した『CHACLE(チャクル)』とのコラボレーション『CHACLE(チャクル) Rafoot(ラフート)』始動!
定期的な充電や空気入れなどのランニングコストを削減します。

エアレスタイヤ搭載自転車 CHACLEとは?

チューブのないタイヤを搭載したパンクしない自転車です。

そのため定期的な空気入れも不要!メンテナンス作業が大幅に軽減されます。そのうえ従来のタイヤと同等の「軽さ」「クッション性」を備え、安定した走行を実現します。

- チューブがないから 空気入れ不要!
- 絶対にパンクしないから パンク修理不要!
- 紫外線、湿度にも強いタフなタイヤだから 約3年間は タイヤ交換不要! ※15km×20日間/年走行の場合

タイヤ交換時期 約10,000Km

空気入りタイヤと変わらない走行性能

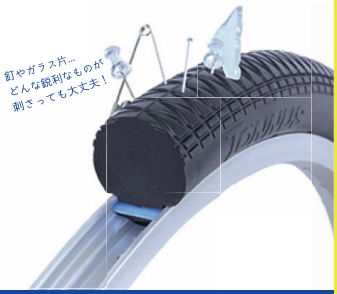
CHACLEのエアレスタイヤは「マイクロセル構造ポリマー樹脂」を原料とし、高度な射出成型技術で製造されています。衝撃吸収・グリップ・低転がり抵抗・耐摩耗性能に優れ、空気入りタイヤと比較しても遜色のない走行性能を誇ります。

タイヤがリムから外れない高い安全性

CHACLEのエアレスタイヤはリムに固定するロックピンシステムの特許技術を採用。走行中にタイヤがリムから外れてしまうような問題が発生する事は一切ありません。



28表~40表(タイヤサイズにより異なります)の12ヶ所ピンでリムに固定されています。



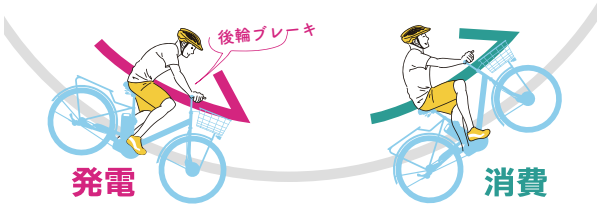
チューブがないタイヤだから
空気入れ、パンク修理が不要!

回生電動アシストシステム FEREMOとは?

人の運動エネルギーを再利用し、発電するシステムで、1回の充電で1,000km走れます。

人の運動エネルギーを再利用し、発電するシステムです。ブレーキ時やペダル停止時にモーターの回転によって発電・充電することができます。充電された電力は、登り坂でも力強いアシスト力を発揮することができます。走りながら充電するのでバッテリーの消費を抑え、充電回数も減らせます。

走りながら充電するのでバッテリー消費を抑える



1回充電すれば1,000km走るので
充電頻度が圧倒的に少ない!

FEREMOは太陽誘電株式会社の回生電動アシストシステムです。

利用者
「バッテリー残量の不安」「パンク、空気不足などのトラブルの心配」を解消!
日常的な移動手段としてシェアサイクルを安心して利用できます。

運営側
「パンク修理やバッテリー交換」などのメンテナンス負担を大幅に削減!
運営コストを抑え、効率的でスムーズなサービス提供が可能に。

Takeda
武田産業株式会社

『感謝される企業』をモットーに、地球環境に配慮し、健康的で快適な地域社会づくりに貢献できる商品企画やサービスの提供を目指します。

弊社は全国 8 カ所に拠点を持つ、昭和 13 年創業のメーカー志向型卸売商社です。全国一律の物流体制・スピーディなサポート体制を目指し、安全・安心はもちろん、売れる商品提案ができるメーカー型ベンダーを目標としております。安心して乗れる自転車、安全に乗れる環境を作るために何ができるかを考え、企業使命として"自転車を文化に"をスローガンに、自転車をただの交通手段としてばかりではなくスポーツ・レジャーとして欧米のように文化として定着するよう自転車の地位向上のため啓蒙活動を行っています。

札幌みんなのサイクル ポロクル porocle

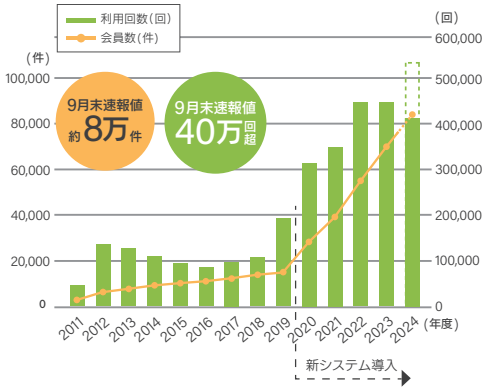


実施・運営事業者：認定NPO法人ポロクル
システム提供：株式会社ドコモ・バイクシェア/運営協力：NPO法人 ezorock
沿革 2011年よりシェアサイクル事業を開始。2019年に株式会社NTTドコモと連携し、新システムを導入。

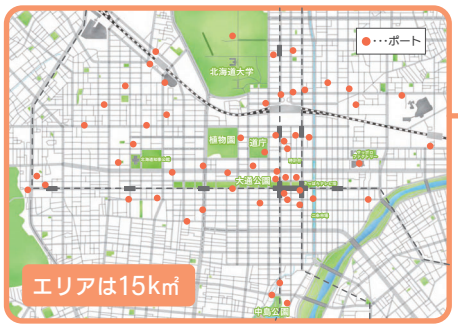
01 シェアサイクル事業

2024年度実施概要
ポート 60ヵ所 / 自転車 600台
営業期間 4月7日～11月15日の223日間
利用料金 1回会員：165円/30分 月額会員：3,300円/月 1日パス：1,430円～1,980円

会員登録件数・利用回数（年別）

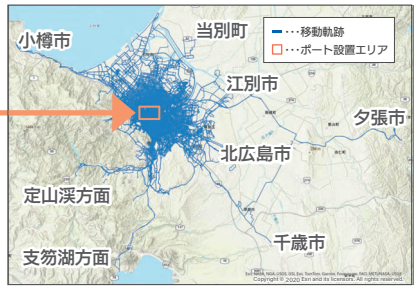


ポートマップ



2024年度データ（9月末時点）	1日平均利用回数	1日最大利用回数	1日平均回転数	1日最大回転数
	2,383回	3,510回	4.3回	6.4回

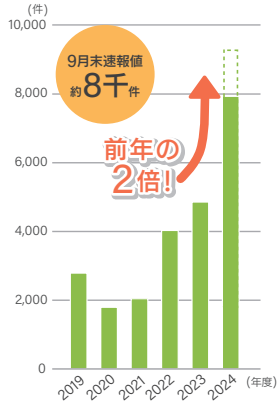
車載GPSによる移動軌跡



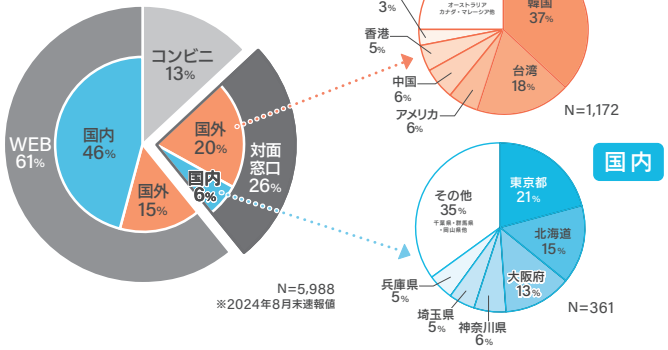
全車両に搭載しているGPS端末で得られるデータから、札幌中心部だけでなく広域的に利用されていることが把握できました。
※2023年のデータで作成（約45万トリップ）

1日パス販売状況

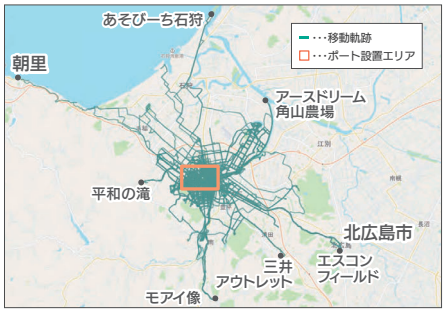
年度別販売数



販売内訳



1日パス購入者（外国人のみ）の移動軌跡



1日パスを購入した外国人利用者の移動軌跡からも、札幌中心部から郊外の目的地へポロクルで移動していることが把握できました。
※2023年のデータで作成（約9百トリップ）

02 啓発活動・その他附帯事業

認定NPO法人ポロクルは、シェアサイクル事業を通してまちづくり・ひとづくり・魅力づくりに貢献すべく様々な事業に取り組んでいます。

ヘルメット着用促進



自転車安全利用の啓発も行っているイオン北海道と連携し、会員限定でヘルメットを特別価格で購入できるキャンペーンを実施。車体広告でも利用者へ周知するなど、安全利用をサポートしています。

啓発活動



中央警察署が主催した「矢羽根型路面表示」の周知啓発活動に参加。ポロクルクルーは、国道230号において矢羽根区間をデモ走行しながら、ヘルメットの着用促進に向けた啓発も行いました。

自転車広告



札幌開発建設部と連携し「第9期北海道総合開発計画」の道民への周知を目的として、全600台のうち1台だけの特別仕様車を製作。計画のイメージカラーに塗装しオリジナルの広告も掲出しました。

環境負荷低減への取組



札幌市が目指す水素社会の実現・持続可能なまちづくりに貢献するため、トヨタ自動車北海道株式会社と共同で、水素を動力源とするFC（燃料電池）アシスト自転車の開発に取り組んでいます。

03 今後の展開（キーワード）

公益性を高める取組や活動を推進していく！ ※2023年12月札幌市自転車活用推進計画策定

環境負荷の低減 / 観光支援（地域活性化） / 健康増進 / 公共交通との連携（生活利便性向上） / 駐輪場需要の削減 / 自転車安全利用

北海道エネルギー | HELLO CYCLING

地域社会におけるMaaSの推進と実現に向けた取り組み

私たち北海道エネルギーは“モビリティライフ”をサポートしています。

道民の皆様が快適に移動できる社会づくり、交通課題の解消、脱炭素モビリティで観光価値向上に貢献したい
そんな想いで２０２４年５月よりシェアサイクルサービスを始めました。



HELLO CYCLING

- ▶予約も決済もアプリで完結
- ▶24時間いつでも利用可能
- ▶どこでも好きなステーションに返却
- ▶全台電動アシスト自転車

２０２４年度事業規模と利用状況推移

シェアサイクル台数とステーション設置箇所

２０２４年９月時点

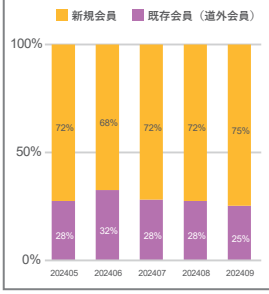
〈北広島エリア〉
北広島駅周辺の多様な移動手段確保、利便性向上を目的としてサービスを開始

サービス開始	２０２４年５月
シェアサイクル	１００台
ステーション	１２箇所
駐輪ラック	２６３ラック

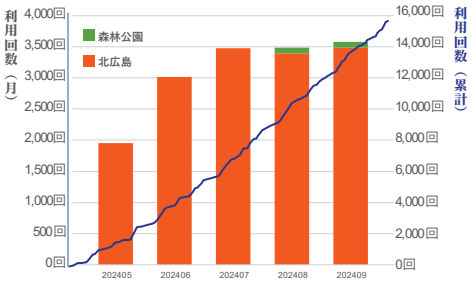
〈森林公園エリア〉
道有三施設の回遊性向上と施設利用促進を目的としてサービスを開始

サービス開始	２０２４年８月
シェアサイクル	２０台
ステーション	３箇所
駐輪ラック	４０ラック

ご利用ユーザー内訳



ご利用回数



ご利用ユーザーの移動軌跡の推移と行動エリアの拡大









今後の展望

交通事業者様等と連携し、
ファースト・ラストワンマイルの移動をシームレスにつなげる

こんなお困りごとございませんか？

北海道内の企業・自治体の皆様

- ◆バスが減便され移動に困る時間帯がある
- ◆始発駅への、終着駅からの移動に困る
- ◆もっと気軽な観光周遊を提供したい
- ◆施設等の付加価値向上をしたい…etc

道内でレンタサイクルを展開している事業者の皆様

- ◆自転車のレンタルに人員が割かれる
- ◆どんな利用をされたのか移動データが知りたい
- ◆キャッシュレスにしたい…etc

道内各地で展開検討

HELLO CYCLINGを活用した
シェアサイクルサービスを、弊社と一緒に展開しませんか？

静岡市シェアサイクル PULCLE（パルクル）

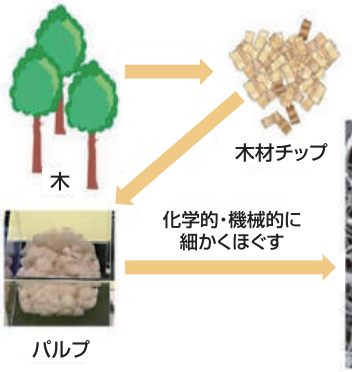
1 PULCLEの新しい挑戦

環境にやさしいタイヤ『BXホワイトタイヤプロジェクト』

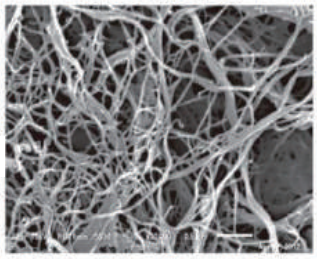
●スタートアップ企業の支援を目的とした『アクセラレーションプログラム』に採択されたリッパー株式会社のBXタイヤの検証に協力を開始。
●木材由来のナノセルロースでタイヤを強化することで、自然由来の原材料への転換を図り、CO2削減やタイヤ粉じん由来の海洋マイクロプラスチック削減を目指す。

ホワイトタイヤとは

国、静岡県、富士市の産業政策となっているCNF（セルロースナノファイバー）技術を活用した白いタイヤ。
CNFは木材チップ、紙パルプを製紙産業設備を使ってナノ化して作る新しい環境素材を用いる。



セルロースナノファイバー
直径：数～数十nm
長さ：0.5～数μm





今後の取り組み

ノーパンク環境タイヤへの挑戦

環境にやさしいだけでなく、シェアリング事業運営費を軽減するノーパンクタイヤの開発・導入を目指す。

ホワイトタイヤ+ノーパンクタイヤ　導入準備の様子

❶ ノーパンクタイヤ取り付け



❷ 新型ホイールの検討



今までの検討 ⋙ 今回の検討

パンクレスチューブ



タイヤのチューブの2重構造

ソリッドタイヤ



単純構造で1つのゴムの輪

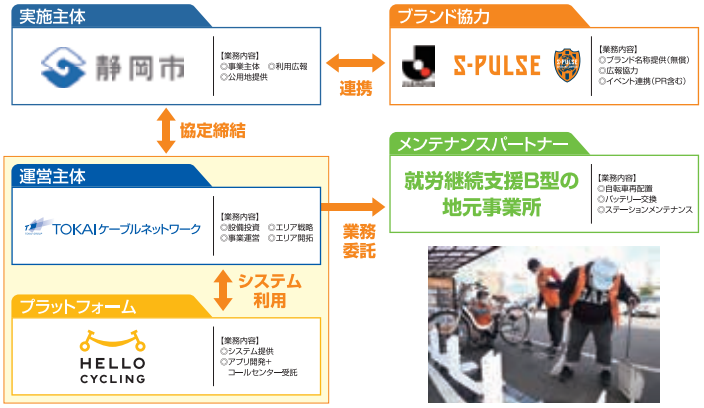
連携したスタートアップ企業
リッパー株式会社（静岡県富士市）

LIPPERはナノテクノロジー技術を使って、環境にやさしいタイヤ素材を開発。
CO2排出量を削減し、タイヤ粉じんのマイクロプラスチック排出量を減らすタイヤの実現を目指す。

LIPPER

2 事業構成と各社の役割

●事業運営主体は静岡市であるが、TOKAIケーブルネットワークが運営事業者となっており、事業投資や事業運営の全般を担う。
●行政は、『公用地提供』と『利用広報』ならびに関係者との調整を担当。
●行政からの『補助金』は一切交付されていない経済的に自立した事業モデル。



3 「オール静岡」の体制による事業推進

●『TOKAI Groupのイメージ』を前面に出さないブランディングに取り組み、地域連携を推進。
●社会インフラとしての価値や事業展開の趣旨に賛同した地元企業がステーション用地の無償提供や広報協力などで連携しながら、規模と認知を拡大。（全体の59%が民間用地）
●業種や企業規模を超えた連携により、『オール静岡』の体制でインフラ整備を後押し。

新しい『公共交通インフラ』としての認知と評価

私企業が提供する有償サービスながら、『公共交通インフラ』としての認知が定着しており、地域活性化への貢献が地元住民から高く評価されている。



『オール静岡』の体制による連携

地元の有力企業から金融機関、農協、個人経営のクリニックや学校法人など、趣旨に賛同した事業者がステーション用地の無償提供などに協力。

参加企業（一例）
わたしたちは、PULCLEを応援しています。

静清信用金庫　JA静岡市　静岡ろうさい　静岡銀行
静岡大学　静岡県立大学　静岡県立静岡がんセンター　静鉄ストア　Matsuzakaya　コジマ

用地種別	公共施設	公　園	交通結束点	オフィス	金融機関	商業施設・店舗	コンビニ	学校・病院	その他	合　計
ST内訳	19	60	11	14	12	66	10	20	13	225
区　分	公用地(41%)			民間地(59%)						

名古屋市のシェアサイクル事業

名古屋市

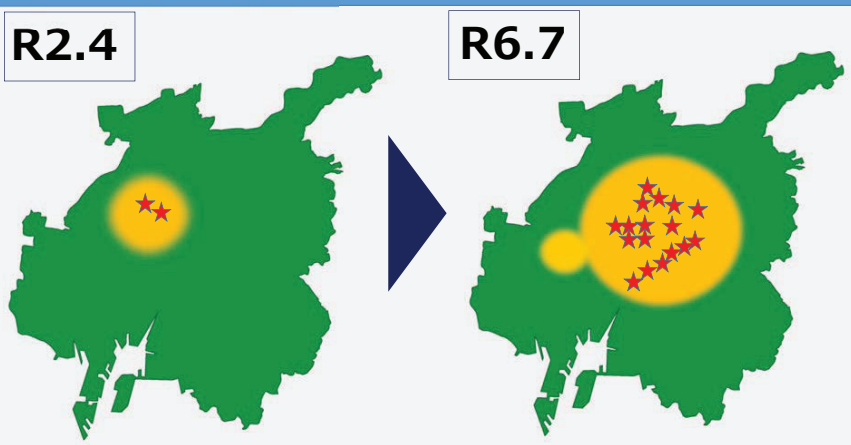
シェアサイクルの現状

●名古屋市では、都心部の放置自転車対策のほか、まちの回遊性の向上や観光施策の下支え等を目的として、シェアサイクルの普及促進をしています。

●複数の民間事業者が市内で事業を展開しており、市は民間事業の支援として、公共ステーションの設置を実施しています。

※協定事業者（令和6年7月末現在）

cariteco BIKE　Charichari　HELLO CYCLING　LUUP



★ 公共ステーション：２箇所
● 民間ポート：　37箇所
（協定事業者数： 2社）

★ 公共ステーション：17箇所
● 民間ポート：　1,338箇所
（協定事業者数： 4社）

シェアサイクルを支える総合的な自転車施策

公共ステーションの設置（社会実験）都心部

●令和2年度より社会実験として公共ステーションを設置

●都心部の鉄道駅近くなどの交通結節点を中心に設置

●公共ステーションについては、協定を締結した事業者が共同で利用可能

自転車通行空間の整備



●片側1車線の車道部に自転車専用通行帯を整備

駐輪場の整備＆有料化 都心部



●約10,000台分の駐輪場を都心部の道路上に整備

●都心部7駅を令和5年度に有料化

放置禁止区域の指定 都心部



●令和5年度に都心部を面的指定

公共ステーションの設置事例

【道路上に設置】



市役所前

【市営駐輪場の余剰ｽﾍﾟｰｽを活用して設置】



名古屋駅付近

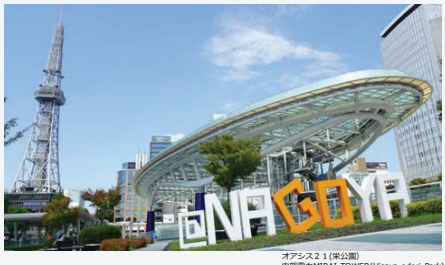
シェアサイクルマップ始めました

【令和6年8月26日～】

●民間事業者４社のポートを1つのマップに集約

●自転車通行空間の整備箇所と立ち寄りスポットも掲載

《お知らせ》　第12回 自転車利用環境向上会議 の開催地に決定!!!



オアシス２１(栄公園)
中部電力MIRAI TOWER(Hisaya-odori Park)

開催日：令和7年10月31日（金）
11月　1日（土）

会　場：岡谷鋼機名古屋公会堂

名古屋でお待ちしております！



岡谷鋼機名古屋公会堂

観光の視点から取り組む
こまつシェアサイクル

■自転車数：75台
■ポート数：29箇所

Komatsu Share Cycle

■利用料金

最初の30分	165円／回
延長料金	110円／30分
1日上限	2,200円／日
1日パス	1,430円～／日



実施主体：小松市
運営主体：株式会社日本海コンサルタント
システム提供：株式会社ドコモ・バイクシェア
発表者：株式会社日本海コンサルタント 社会事業本部計画研究室　片岸将広、中野達也、武内沙月

■事業概要

＜導入目的＞

①観光客及びビジネス客の利便性・回遊性の向上
・2024年3月に開業した北陸新幹線「小松駅」と、「小松空港」の2つの重要な交通結節点からの二次交通を充実させることで、観光客及びビジネス客の利便性・回遊性を向上させます。

②小松市民の公共交通機関の補完
・人口減少や人員不足等により危惧される公共交通機関の存続に対し、シェアサイクルが鉄道やバス等を補完し、移動の選択肢を多様化することで、市民の外出機会創出、地域活性化を図ります。

③マイカー等からの転換による環境負荷の軽減
・近年の地球温暖化の影響により、二酸化炭素排出量の削減は喫緊の課題であることから、マイカーから自転車（シェアサイクル）への転換等によるカーボンニュートラルの実現を目指します。

＜こまつシェアサイクルの特徴＞

①「アプリ」を通じた全国でのシームレスな利用を実現
・「ドコモ・バイクシェアアプリ」への1回の登録で、全国のドコモ・バイクシェアサービスを展開しているエリアでの利用が可能です。

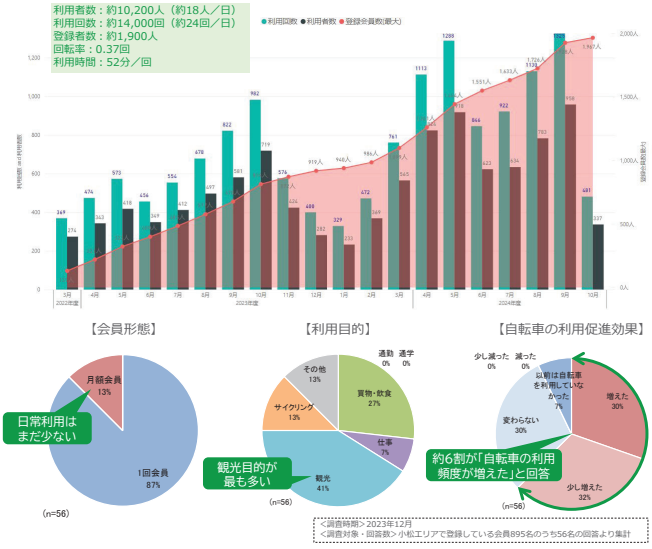
②全車に電動アシストを搭載
・性別や年代を問わず誰もが乗りやすい20インチの自転車には電動アシストが搭載されており、身体への負担が軽減され、スムーズな走行が可能です。

③利用特性に応じたポートの設置
・常に自転車を配置していつでも貸出・返却ができる「拠点ポート」と、特に観光地において隣接したポートに返却して、観光中の利用料金を節約できる「簡易ポート」を地域特性に応じて設置することで、ユーザー目線でみたサービスを提供します。





■利用実績（2023年3月5日～2024年9月30日の集計結果）



■代表的な取組

サイクリングツアー

小松市国際交流協会の主催により、2023年と2024年に1回ずつ、こまつシェアサイクルで市内を巡るサイクリングツアーを開催しました。参加者は国際交流協会の会員や一般を含む10名程度で構成され、日本語や英語でコミュニケーションをとりながら、小松市内の海や山など自然の魅力を堪能しました！

2023年5月27日（土）8:30～11:00
小松駅を出発し、梯川沿いや加賀海浜自転車道を通って海沿いの安宅エリアを散策



2024年4月29日（月・祝）8:30～11:00
小松駅を出発し、山沿いのハニベ巌窟院や遊泉寺エリアを散策



※こまつシェアサイクル事務局として、安心・安全に楽しんでもらうため、自転車の使い方や交通ルールの説明のほか、ヘルメット貸出等のサポートを実施しました。

小松基地航空祭の特需に応じた対応

5万人を超える航空ファンが一堂に集う小松基地航空祭においては、移動手段としてシェアサイクルの利用が通常よりも多くなることから、2023年には航空基地内に臨時のポートを設置し、来場者の利用に応じた返却を可能にしました！また、2024年には「同じ自転車をずっと乗り続けたい」という利用者の要望を叶えるため、小松市のふるさと納税の返礼品として「こまつシェアサイクル3Daysパス」を提供しました！

2023年　臨時ポートの設置＆こまめなバッテリー交換



2024年　オリジナルデザインの自転車と3Daysパスを提供



イベントに合わせた試乗会の開催

2023年10月8日（日）に小松駅前の北國とおり町エリアで開催された「北國とおり町マーケット」に、こまつシェアサイクル事務局として出店し、こまつシェアサイクルの展示のほか、認知度向上のため、無料の試乗体験会や景品付きの会員登録会を開催しました！



サイクリングコースの造成・発信

電動アシスト付き自転車であるこまつシェアサイクルで巡る市内のサイクリングコースを造成しました！また、石川県観光連盟が発行するパンフレット「くるっと石川～電動アシスト自転車で広がるよくばりな旅～」に掲載し、広く発信しています！

観光パンフレット「くるっと石川」はこちらからチェック！



■今後の展望　“観光利用”だけでなく、“市民利用”のさらなる増加を目指します。

①認知度の向上
・2024年9月時点で、小松エリアでの登録者数は約1,900人となっており、今後も新たな交通手段としての認知度を向上させ、登録者数のさらなる増加を図ります。

②回転率の向上
・2023年12月時点で自転車の回転率（1日で1台の自転車が平均何回利用されているかを示す割合）は0.37回にとどまっていることから、利便性の高い環境の整備により、さらなる回転率の向上を目指します。

③利便性の高い自転車やポートの配置
・利便性を向上させるためには、使いたいときに近くに自転車があるかという点が重要であり、利用の多いポートには自転車を多く配置する、利用したいニーズがある場所には新たにポートを設置するなど、利用者のニーズの把握とニーズに応じたサービスの提供を並行して行い、小松市民にも観光客・ビジネス客にも使われるシェアサイクルを目指します。

一般社団法人 日本シェアサイクル協会

『シェアサイクル便覧 2024』発刊しました



シェアサイクル事業が全国で一定の発展を遂げるとともに、その定着が進んでいること、並びに協会発足 10 年になることを記念致し、シェアサイクル事業の実施に関して、シェアサイクルの普及に関する取り組み、内外のシェアサイクルの取り組み状況、シェアサイクル関連データ、シェアサイクル計画の手引き、今後の展望等を取りまとめた『シェアサイクル便覧 2024』を編さんし、刊行しました。


シェアサイクル便覧　2024　INDEX

はじめに　刊行のことば　一般社団法人 日本シェアサイクル協会 会長　古倉宗治　1
刊行に寄せて　国土交通省都市局 街路交通施設課長　服部卓也　2
国土交通省 自転車活用推進本部 事務局次長　森若峰存　3

第１章　シェアサイクルとは
シェアサイクルの基本的特徴・基礎情報　一般社団法人 日本シェアサイクル協会 会長　古倉宗治　6
シェアサイクルのメリット　8
シェアサイクル用自転車の種類　9

第２章　シェアサイクル普及への取り組み―シェアサイクルの政策
日本におけるシェアサイクルのこれまでの歩みと現在の政策　国土交通省都市局　14
一般社団法人 日本シェアサイクル協会の取り組み　20
シェアサイクルの現在 ― 事業者の取り組み　22
・ドコモ・バイクシェア／OpenStreet／シナネンモビリティ PLUS／Luup／チャリチャリ

第３章　国内のシェアサイクル事例―特徴的事例
各地で進められているシェアサイクル実例集　32
・特徴のあるポート × 15

第４章　シェアサイクル関連データ集
日本におけるシェアサイクルの取組動向（全国・都市別）　48
日本におけるシェアサイクル整備状況分布（主要都市）　50

第５章　海外のシェアサイクル事例
データで見る海外シェアサイクル普及の状況　52
都市別事例集
・パリ　一般社団法人 日本シェアサイクル協会 会長　古倉宗治　54
・台湾（台北／高雄）　大東文化大学 社会学部 社会学科教授　野崎 剛　56
・中国　NPO 法人 自転車活用推進研究会 理事　定田 智　58

第６章　シェアサイクルの計画の手引
一般社団法人 日本シェアサイクル協会『シェアサイクル事業の手引き』　60
自転車活用推進本部『シェアサイクル事業の導入・運営のためのガイドライン』　62

第７章　シェアサイクルの今後の展望　64
これからのシェアサイクルの展望、未来のあり方
一般社団法人 日本シェアサイクル協会 会長　古倉宗治
国土交通省都市局 街路交通施設課長　服部卓也
NPO 法人 自転車活用推進研究会 理事　定田 智

第８章　日本シェアサイクル協会 会員情報　70
正会員／賛助会員一覧　81

あとがき　一般社団法人 日本シェアサイクル協会 専務理事　森井 博


3. 地域別シェアサイクル動向
欧州におけるシェアサイクル
北米におけるシェアサイクル
アジアにおけるシェアサイクル

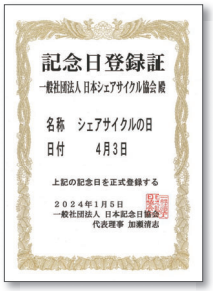
全ページ
閲覧できます

シェアサイクルは、自転車を積極的に活用するための大きな戦略の一環として事業が推進されるとともに、これが市民に活用されるような様々な有効策が講じられ、かつ、持続可能な事業となることが求められますが、この便覧がこれらのために有効に活用されることを期待します。

4月3日「シェアサイクル」記念日に制定

一般社団法人日本記念日協会に申請し、記念日として制定しました。
「シェ（4）アサ（3）イクル」と読む語呂合わせと、新生活が始まるこの時期に多くの人が新たな移動手段として利用することから、4月３日がシェアサイクルの日となりました。





今年の ４月３日には、各社のホームページに「シェアサイクルの日」のお知らせを掲載していただく他、当日正午 12 時に SNS（X 旧 twitter、Instagram）に「シェアサイクルの日」と「安心・安全な利用」について一斉配信。

安全啓発に向けた取り組み

当協会では、道路交通法改正施行などの社会背景を踏まえ、適宜適切に啓発活動を行ってまいります。合わせて、業界横断的な連携強化や国内外における自転車走行環境の情報収集に努めています。

【大津市】エコ移動の推進に向けたシェアサイクル導入実証事業

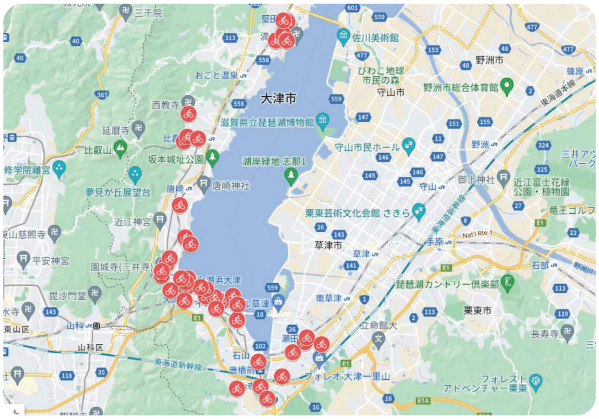
主管｜大津市環境政策課　　協働事業者｜株式会社きゅうべえ

目的

大津市では、2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて「エコ移動」の普及を図ることを目的に令和6年6月から、シェアサイクル導入実証事業を実施しております。

概要

電動アシスト自転車120台、42ポート(10月15日時点)で事業を展開。環境負荷軽減だけでなく、観光客の利便性向上、公共交通の補完等、副次的な効果も検証しています。
南北に長い大津市の地理的特性を考慮したポート設置を行っております。



出典｜Googleマイマップによる地図情報

大津市内の各事業者と連携して地域に根差した運営



ナショナルサイクルートのゲートウェイ施設である大津港サイクルステーションとの連携。



地域のイベントに出展してPR活動を実施。



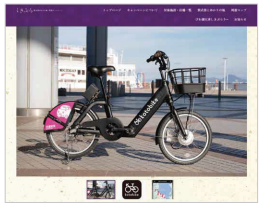
地元金融機関と連携した周遊マップを制作し、地元のスポットの周遊を促進。



観光大使を活用したプロモーション活動。



収益の一部で市民を対象とした子供向け自転車教室を実施。
(11月17日開催予定)





出典｜しきぶら 紫式部ゆかりの地・周遊キャンペーン「kotobike」https://www.shikiburari-otsu.jp/spot/s039/

紫式部ゆかりの地・周遊キャンペーンに参画して、地域内の周遊を促進。







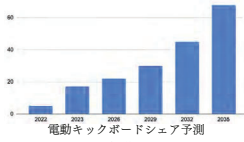
イオングループが提供する
フルパッケージのレンタルサービス
【ノール】

Noole
AEON SIGNA
SPORTS UNITED

全国に展開するシェアサイクル整備拠点を活用
事業形態や要望に応じて　オーダーメイド

拡大する特定小型原動機付自転車市場

2035年には3倍の市場規模となる。



電動キックボードシェア予測

世界の電動キックボード市場は急速に成長しており、2025年までに約400億ドル～500億ドルに達すると言われている。
日本円にして約5-6兆円にも上る規模である。
そこから日本国内の電動キックボード市場規模を推定した結果、約1兆円以上の規模となる想定がされている。

普及とともに整備需要も増加している。



日本においてもコロナウイルス拡大後、シェアモビリティの需要は拡大している。さらに、購買による自転車・電動アシスト自転車・特定小型原動機付自転車・その他電動モビリティは増加傾向にある。ネットでの販売企業も増加傾向にあることから整備のニーズも増加傾向にある。

弊社ソリューション

モビリティ企業向け

倉庫運営
入庫～整備・出荷まで対応

メンテナンス・出張修理
・故障車の引上～修理～再配置
・フィールドでの出張修理に対応

在庫管理
オーダーメイド管理システムの構築

人材育成
整備技術の標準化、マニュアル作成、
技術スタッフの教育

改善提案
整備効率化による稼働率の向上

地域活性化支援

レンタサイクル導入支援（1台～）
弊社ブランドの電動自転車での運営



既存レンタサイクルの
メンテンナンス・出張修理



誘客のためのイベントコンテンツの提供



観光案内アプリによる地域の魅力発信



全国どこでも対応可

2024年10月
10都市
順次拡大中



整備不良による交通事故０件に向けて業界へのアプローチ

将来的に、電動マイクロモビリティーの整備需要の増大、
個人利用の整備不良増加による交通事故の発生が予想されています。

我々、アベントゥーライフ株式会社は、
多種多様な特定小型原動機付自転車の整備技術の標準化に向けた取り組みを開始しました。

さらに、業界に向けて、法的知識や国内外の利用実態を共有できる環境整備を進める準備をしています。

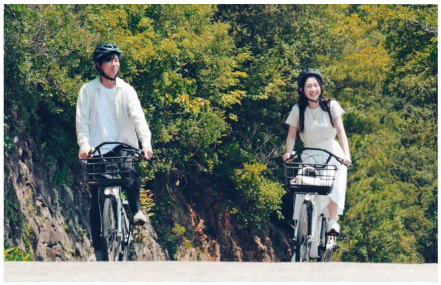
安全安心な電動マイクロモビリティーの利用をメンテナンスの立場から推進して参ります！

Aventulife
会社名：アベントゥーライフ株式会社
設立年月日：2018年 8月28日
代表者：片倉　好敬
本社住所：東京都荒川区西日暮里6-23-6　穂坂ビル1F
メールアドレス：repair_reception@aventulife.co.jp

シェアサイクル活用による地域活性化への取り組み

シナネンモビリティPLUS株式会社






シェアサイクルによる地域の問題解決

二次交通の脆弱性

公共交通機関の本数や路線が限られているため、
移動がスムーズに行えない…
異なる交通手段間の接続がスムーズに行えない…

シェアサイクル導入効果

ほかの交通手段との接点になる
レンタサイクルと違って乗り捨て利用が可能

深刻な人手不足

バスやタクシーの運転手が不足し、
運行本数の減少やサービスの質が低下している…

シェアサイクル導入効果

シェアサイクルは運転手や管理者が必要なく無人管理
観光客が自分で漕いで好きなところに行くことができる

小豆島における事例

20年先の小豆島をつくるプロジェクト

✓小豆島における観光地の持続可能な発展に向けて
株式会社JTBを筆頭に企業や自治体計11団体※が参画

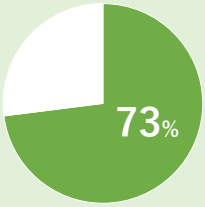
✓シナネンモビリティPLUSは島内の交通環境改善・観光周遊性の向上に寄与すべく
株式会社JTBと共同でダイチャリオリジナル自転車を導入



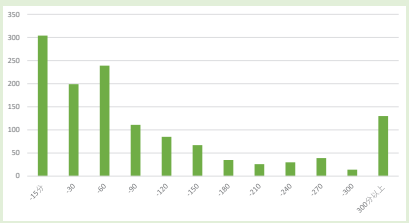
※2024年8月時点

利用状況

ワンウェイ※利用率
※貸し出しと返却が異なるステーション



利用時間別利用回数



POINT

- 73%が借りたステーションとは異なるステーションに返却をしている
- 15分 - 60分の短時間利用が約60%を占めている

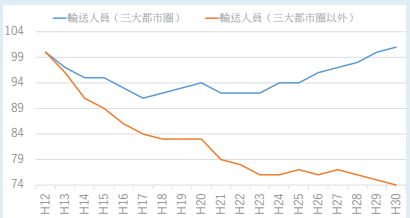
ほかの交通機関（バス等）との組み合わせでご利用いただいていることを想定できます！

今後の展望

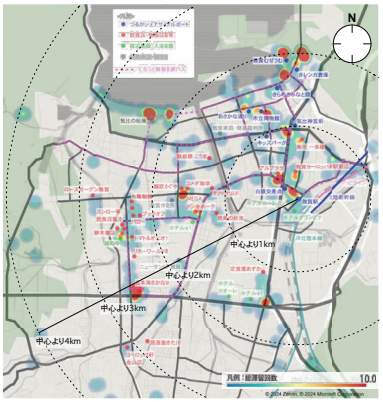
他の地域においても同様に二次交通の脆弱性・人手不足が
問題として挙げられている

小豆島の経験を活かし交通環境改善に寄与していきたい

バスの輸送人員の減少



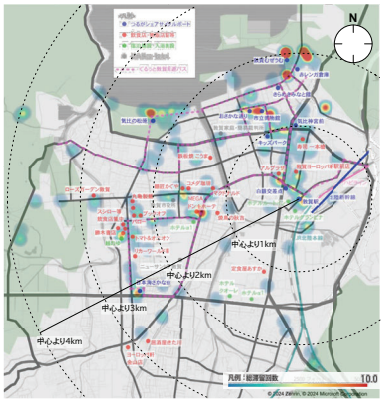
「三大都市圏」とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県を指す
（出展）国土交通省：「令和3年版国土交通白書」



2021/9

2020/4 つるがシェアサイクル開業から1年半が経過、9箇所のサイクルポートでスタート。ポート設置箇所以外の回遊行動が多くみられる。

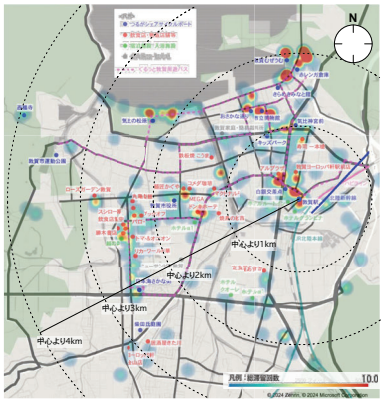
736	総滞留回数
24.53	日平均滞留台数
566.82	総停車時間(h)
46.00	平均停車時間(m)



2022/9

2022/6 ポート追加(気比の松原、日本海さかな街)、11箇所のサイクルポートとなる。コロナ禍収束へ向かう。

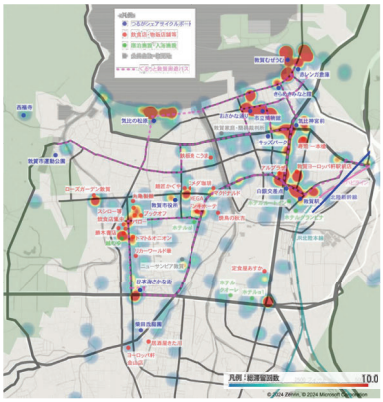
510	総滞留回数
17.00	日平均滞留台数
394.32	総停車時間(h)
46.00	平均停車時間(m)



2023/9

2023/3 敦賀市役所にポート追加、12箇所のサイクルポートとなる。

816	総滞留回数
27.20	日平均滞留台数
671.00	総停車時間(h)
49.00	平均停車時間(m)



2024/9

2023/10 柴田氏庭園、運動公園、西福寺の3箇所にポート追加。15箇所のサイクルポートとなる。2024/3に北陸新幹線敦賀駅まで延伸開業

1553	総滞留回数
51.77	日平均滞留台数
1,169.85	総停車時間(h)
45.00	平均停車時間(m)

▲つるがシェアサイクルの利用状況推移
（GPSによる回遊行動の実態）

※(株)日本海コンサルタント提供データに追記

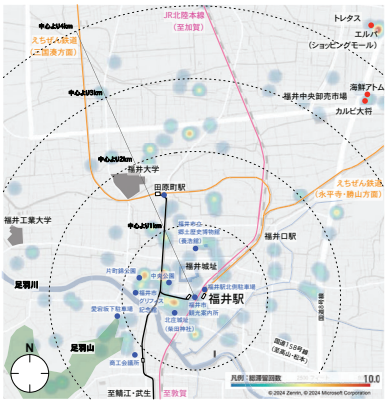
ふくチャリの利用状況推移▶
（GPSによる回遊行動の実態）

※(株)日本海コンサルタント提供データに追記

誰もが利用可能なシェアサイクルに向けて必要なことって何だろう🤔

清水俊貴[1)]
山村啓一[2)]
中野達也[2)]
長谷川愛理[3)]
山川怜咲[3)]
吉村朋矩[4)]
片岸将広[2)]

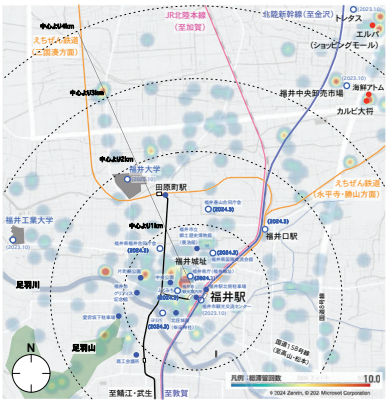
1) 福井工業大学 建築土木工学科 准教授 、大学院 社会システム学専攻
2) 株式会社日本海コンサルタント、
3) 福井県立羽水高等学校、
4) 福井工業大学 建築土木工学科 教授



2023/9

2023/3 10箇所のサイクルポートを設置しスタートから半年。

323	総滞留回数
32.30	日平均滞留台数
249.55	総停車時間(h)
46.00	平均停車時間(m)



2024/9

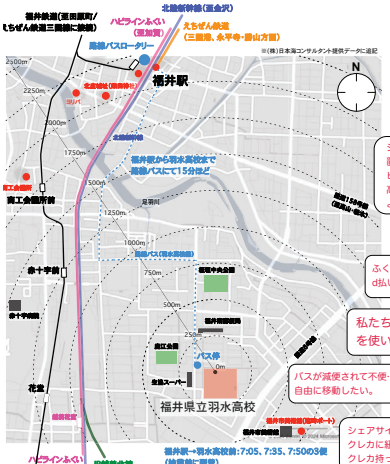
2024/3.27時点で、19箇所のサイクルポートを設置(臨時含む)2024/3に北陸新幹線敦賀駅まで延伸開業。ポート数が増え、設置場所も拡がり、広範囲な滞留が生まれている。

563	総滞留回数
51.18	日平均滞留台数
421.05	総停車時間(h)
45.00	平均停車時間(m)

これまでの研究

第 44 回 交通工学研究発表会
シェアサイクルによる回遊行動の実態とリピート意向に関する要因分析
ー福井県敦賀市を事例としてー
清水 俊貴, 片岸 将広, 吉村 朋矩

1.交通弱者にもっとシェアサイクルを！



福井市では、慢性的な運転手不足により、路線バスの減便・廃止が続いている。その影響を通学手段が限られている高校生が被っている。限られた時刻のバス、親の送迎ではなく、もっと自由に移動できる手段が欲しい…。
シェアサイクルを高校あるいは近くに設置して欲しい！、を課題探求授業のテーマとした高校生と、大学教員、シェアサイクルの事業委託業者と共にオンラインmtgを行った。



⬆10代の7割以上がオンライン決済で課題

※マクロミル調査「決済動向に関する世代別調査」

2. 福井県におけるシェアサイクルの今…

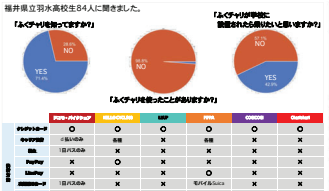
・北陸新幹線開業前後で大きく変化した利用状況、活発化する回遊行動。
・ポート数の増加が、ポート以外の回遊行動を生む。











	ドコモ・バイクシェア	HELLO CYCLING	OMO	NOREL	COMODE	Charichari
アカウント登録	○	○	○	○	○	○
利用時の申込	○	会員	×	会員	×	×
利用料金	○	○	×	○	×	×
PayPay	×	○	×	×	×	×
LINEPay	×	×	×	○	×	×
決済手段	日パスのみ	×	×	モバイルSuica	×	×
その他		Yahoo!ウォレット決済		ApplePay		Pasly
				定期券(アプリ)		
				銀聯キャッシュ決済		

⬆シェアサイクル主要各社の決済方法比較

	バナソニック	ヤマハ	メーカー不明	バナソニック	ブリヂストン	やっぷり	バナソニック	ヤマハ
	グリッター	ビビL20	PAS CITY C	SW型ショート転倒	ビッキィ20a	アシスタ	ベロスター	PAS VIENTA / PAS Brace
乗車感		前傾姿勢。ライザーのフロッシャーサイダルがあため。	ビビL20にふくチャリトにコンパクトに優しる。	前傾姿勢。固きフレーキによる充電。			前傾姿勢。固きフレーキが遠いかかる。	前傾姿勢。フロントキスト。
全長	1,595	1,595	1,535	?	?	1,790	1,865	1,775 / 1,780
全幅	585	580	580	?	?	580	585	595 / 575
ハンドル高さ	935-975	950-985	?	?	?		1005-1035	-
サドル高さ	715-870	690-815	710-865	?	?	?	760-965	770-925 / 815-965
軸間距離	1,050	1,055	1,020	?	?	-	1,145	1,120 / 1,130
乾車両重量	24.6	21.4	21.0	?	?	31.5	21.4	21.2 / 22.6
タイヤ	20×1.95HE	20×1.75HE	20×1.75HE	前20×7 後20×7	前20×7 後20×7	前20×1.95HE 後20×2.125HE	24/700×38C	26×1.50HE / 26×1.50HE
変速	3段	3段	3段		なし	3段	7段	5段
モーター	後輪/250w	後輪/250w	後輪/240w		後輪/250w	前輪/250w	後輪/250w	後輪/240w / 後輪/240w
補助力制御方式	踏力比例制御	踏力比例制御	踏力比例制御		踏力比例制御	踏力比例制御	踏力比例制御	踏力比例制御 / 踏力比例制御
駆動	チェーン	チェーン	チェーン		チェーン	チェーン	チェーン	チェーン / チェーン
ベース車両	ミニサイクル	ミニサイクル	ミニサイクル	ミニサイクル	子供乗せ	子供乗せ	子供乗せ	スポーツ / スポーツ

3.シェアサイクルはかっこよいか？

・材料調達の純国産化によるメンテナンス性の向上。
・シェアサイクルが街の顔になるには?
・地域のブランドを誘発するシェアサイクルをつくる。
（ex.まちのり金箔仕様とか）
・歴史をつなげながら未来へとつなぐ乗り物、
自動車事故を減らす乗り物、それがシェアサイクル。



	地域	サービス名称	市街化区域面積(km²)	定住人口	観光人口(3人)	中心部回遊	観光地周遊	街の特性	メンテナンス状況	ポート数	台数	車両の色
NTTドコモシェアリングサービス	直営	宮城県 仙台市	ダテバイク							180		赤
		宮城県 仙台市	海岸サイクル							180		赤
		東京都城	バイクシェアサービス							622		赤
		東京都 八王島	HACHIJO SMART MOBILITY							68		赤
		神奈川県 川崎市	川崎バイクシェア							133		赤
		神奈川県 横浜市	bayOike							433		赤
		大阪府 大阪市	大阪バイクシェア							353		赤
		兵庫県 姫路市	姫ちゃり									白
		奈良県 奈良市	奈良バイクシェア									赤
		広島県 広島市	ひ・すこし									赤
		大分県 大分市	おおいた自転車シェア									赤
		鹿児島県 鹿児島市	かごしまシェアサイクル									赤
		沖縄県 那覇市他	CHURASAI									赤
	提携	北海道 札幌市	ポロクル									赤
		岩手県 二戸市	へのクル									赤
		茨城県 笠間市	かさまサイクリング									赤
		茨城県 境町	サカイサクルシェア									赤
		群馬県 嬬恋村	つまちゃり									赤
		埼玉県 小川町	シェアリングサービス									赤
		東京都 あきる野市	東京湾谷サイクリング									赤
		東京都 小笠原村自転車	Seijo Squasara Cycle									赤
		新潟県 新潟市	Niigata Zen Share Cycle									赤
		石川県 金沢市	まちのり	86	46	1068	○	坂あり・登記積雪あり		75	100	黄緑
		石川県 小松市	こまつシェアサイクル	22	10.6	381	○	概ね平坦・登記積雪あり		21	80	赤
		福井県 福井市	ふくチャリ	47	25	390	○	概ね平坦・登記積雪あり	タイヤ空気	19	02	赤
		福井県 敦賀市	つるがシェアサイクル	65	6.6	316	○	概ね平坦・登記積雪あり	○	15	81	赤
		山梨県 甲州市	ぐるりん									赤
		山梨県 都留市・下吉田	D-BIKE									白
		長野県 上田市・千曲市	上田市・千曲市広域シェアサイクル									赤
		長野県 東御市	とうみシェアサイクル									黒
		岐阜県 池田町・揖斐川町	揖斐トレクル									赤
		岐阜県 美濃加茂市	チャリカモ									赤
		愛知県 名古屋市	カリテコ									赤
		三重県 いなべ市	いなチャリ									赤
		滋賀県 大津市	OLEe									白
		京都府 京都市	OLEe									白
		大阪府 大阪市他	HiBichari									赤
		大阪府 岸和田市	岸和田シェアサイクル									赤
		大阪府 和泉市	桜山学院大学×KYOKO 和泉シェアサイクル									赤
		兵庫県 神戸市	こちベリンクル									赤
		兵庫県 加東市	かとう									赤
		関西地方	スマート駅リンくん									赤
		島根県 出雲市	YUIEN									白
		岡山県 津山市	こんちゃり									赤
		広島県 尾道市	shimanami おのみちシェアサイクル									赤

地域の特性を「個性」と捉えるデータの分析、考察

「個性」をシェアサイクルに実装できないか？

	地域	サービス名称	市街化区域面積	定住人口	観光人口	中心部回遊	観光地周遊	街の特性	道路状況	ポート数	台数	車両の色

	グリッター	ビビL20	PAS CITY C	SW型ショート転倒	ビッキィ20a	アシスタ	ベロスター	PAS VIENTA / PAS Brace
	バナソニック	ヤマハ / メーカー不明		バナソニック	ブリヂストン	やっぷり / バナソニック	ヤマハ	
	ママチャリタイプ					スポーツ		

“にいがた2km”の“回遊性を向上”！

公設民営による“にいがた2kmシェアサイクル事業”が **移動手段として定着してきました**

永井 健太郎
新潟市 都市政策部 都市交通政策課
高橋 貴生
エヌシーイー株式会社 地域モビリティ支援室

1 事業の目的

●中心市街地である「新潟駅」−「万代」−「古町」地区をつなぐ都心軸“ほぼ2キロメートル”をにいがた2kmと名付け、“ワクワク感”や“期待感”につながるまちづくりを推進

●この「にいがた2km」エリアを中心に、“まちなかの回遊性向上”と“公共交通の補完”を主目的に、延いては“まちなかの活性化”に資する取り組みとして、「にいがた2kmシェアサイクル」を導入し、令和4年9月よりサービスを開始



新潟市公式観光情報サイト

ウェブサイトはこちら

2 事業の内容

事業体制

【実施主体】新 潟 市
車両等必要器機の導入やポート用地の調整

公設民営型
事業協定締結

【運営主体】にいがたシェアバイク共同体※1
日々のメンテンナンス（再配置）や料金徴収など事業運営全般※2

※1 （一社）にいがたレンタサイクル、NTTコミュニケーションズ（株）、エヌシーイー（株）の共同企業体
※2 事業開始から3カ年度までの期間、予算の範囲内において市が運営主体の欠損額を負担

事業予算 令和5年度実績

①総事業費 ： 28,853千円 ※3
②利用料収入 ： 23,442千円 ※4
③欠損負担（新潟市） ： 5,411千円

※3 自転車の車両購入費用（購入台数：20台）を含む
※4 企業版ふるさと納税による一般寄付金を含む

事業規模

導入台数：**170台**（電動アシスト付き）
整備ポート数：**38カ所**（R6.3時点）

利用料金

1回利用： 最初の30分165円、以降30分ごと165円
1日料金： 上限2,200円
（最初の30分165円、1日延長料金上限2,035円）
月額会員： 1カ月2,200円（1回30分まで利用可能※5）
法人会員： 1カ月2,200円（1回30分まで利用可能※5）
1カ月4,400円（1回90分まで利用可能※5）

※5 以降30分ごとに165円加算

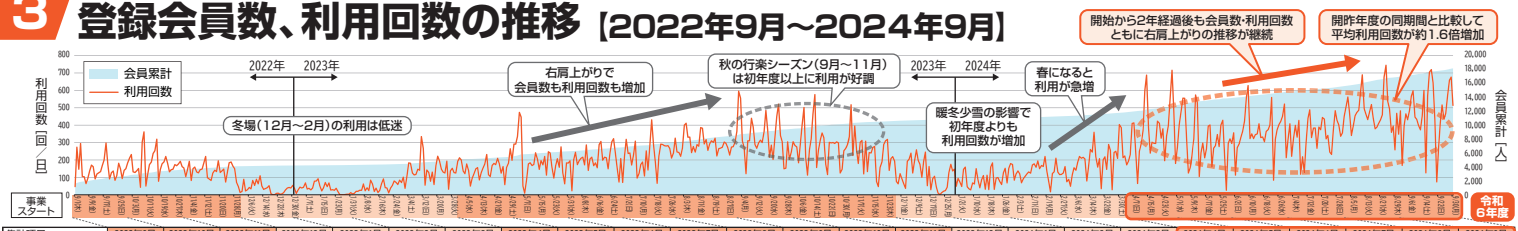


ポート配置コンセプト

●にいがた2km及び周辺の交通結節点や主要施設等にポートを配置
●歩行許容距離を“300m”と定義し、**約300m間隔**でポート配置
●「**認知**」されるため、広場や道路上など、最大限**目立つ場所**にポートを設置
●今後実績データを分析し、ポートの最適配置を継続的に検討



3 登録会員数、利用回数の推移 【2022年9月〜2024年9月】



	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月
集計項目																									
会員累計※1［人］	2,734	3,625	4,090	4,200	4,267	4,419	4,991	5,497	6,245	6,808	7,595	8,498	9,438	10,184	10,642	10,840	11,012	11,297	11,816	12,863	13,895	14,778	15,553	16,929	18,145
会員登録数※1［人／月］	1,259	891	465	110	67	152	572	506	748	563	787	903	940	746	458	198	172	285	519	1,047	1,032	883	775	1,376	1,216
平均利用回数［回／日］ カッコ内は対前年月比倍率	145	177	136	37	34	43	142	153	196	199	234	295	327	281(1.6)	227(1.7)	115(3.1)	95(2.8)	133(3.1)	194(1.4)	343(2.2)	315(1.6)	363(1.8)	343(1.5)	470(1.6)	469(1.4)
回転率※2	0.97	1.18	0.91	0.25	0.24	0.55	0.95	1.02	1.31	1.32	1.56	1.96	1.93	1.65	1.34	1.11	0.93	1.14	1.14	2.02	1.85	2.13	2.02	2.77	2.76

※1 会員累計・会員登録数は、法人会員を除く　※2 平均利用回数を自転車台数【2022/9/1〜2023/8/31は150台（うち冬期1/23〜2/28は78台）・2023/9/1〜2024/9/30は170台（うち冬期12/1〜2/20は103台）】で割った値

多くの月で回転率が2.0を上回り、特に8月以降は2.7以上を記録

4 利用実績 〜GPSデータ分析結果より〜

■日平均OD交通量
0.0－0.1
0.1－0.3
0.3－0.6
0.6－1.0
1.0－2.0
2.0－
■ヒートマップ
多
少
ポート位置

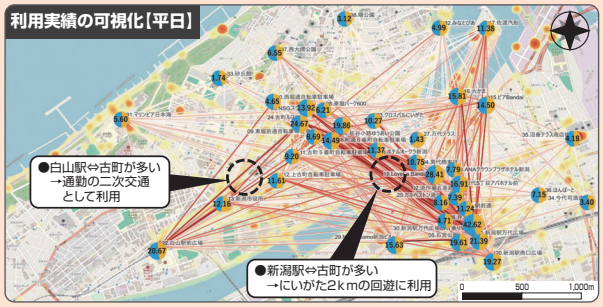
■日平均利用台数

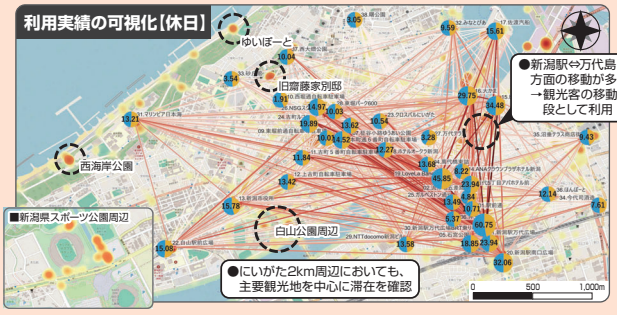


貸出割合
日平均利用台数に占めるポートから自転車が貸し出された割合

返却割合
日平均利用台数に占めるポートに自転車が返却された割合

※使用データ期間
2023年4月1日〜2023年11月30日



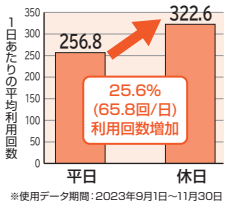


5 利用実績 〜細かなデータ分析より〜

1日あたりの平均利用回数

●1日あたりの平均利用回数は、**平日で256.8回/日、休日で322.6回/日**
→休日は平日よりも平均25.6%(65.8回/日)多く利用されている状況

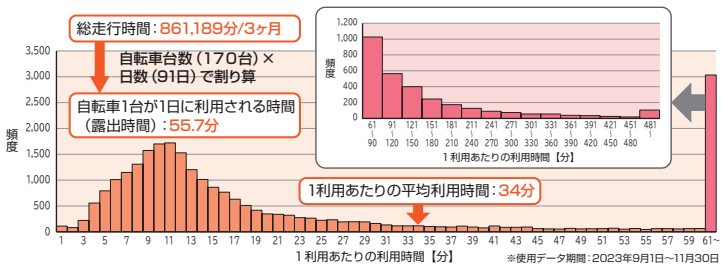
●利用回数の**最大値は595回/日** ※2023年9月2日(土)
→天候が良く、複数のライブイベントやスポーツイベントが開催されたことで、新潟駅から会場までの移動手段としてシェアサイクルが活用されたものと考えられる



※使用データ期間：2023年9月1日〜11月30日

1利用あたりの利用時間の分布

●1利用あたりの平均利用時間は34.0分で、短時間の10分以下から60分以上の長時間まで**幅広く分布**
●最も多かった利用時間は9分〜12分で、**短時間利用に集中する傾向**
●自転車1台あたりの1日平均利用時間は55.7分で、**1日に1時間程度まちなかで人目についている**状況



※使用データ期間：2023年9月1日〜11月30日

橋を渡って移動している利用者の割合

●1日あたりの平均利用回数は208.0回
●古町一新潟駅間の移動など、橋を渡って移動している利用回数は1日あたり102.9回
→令和4年度の同期間と比較して**約2倍の増加**
●**1日あたりの利用の約半数で橋を渡っての利用**が行われている
●にいがた2kmエリア内で、**新潟駅・万代エリアと古町エリアの間を周遊する際、信濃川を渡る（橋を渡る）必要**があり、移動の上でのハードルの1つと予想
→一方で、シェアサイクルを使って橋を渡る利用者は多く、**まちなか（にいがた2km）を周遊する際の重要な移動手段として定着**しつつある



※令和5年度 使用データ期間：2023年9月1日〜11月30日

6 今後の課題

1. ポート数・ラック数と自転車台数の適切なバランスは？
利用実績データに基づいて分析する方法はあるか？
2. 黒字経営に向けた改善点は？
値上げは有効か？
3. 公共交通との有効な連携方策は？
バスシェアサイクル連携（同日利用でシェアサイクル30分無料）は実施中
4. 事業効果をどう分析すると良いか？（特に公設民営の視点から）

ご助言いただければ幸いです！

太陽誘電株式会社

再エネで、世界の移動を再生する。
FEREMO™

シェアサイクル自転車に最適な
回生電動アシストシステムFEREMO™のご紹介

回生電動アシストシステムFEREMO™搭載自転車は
1回の充電で最大1,000km走行可能！
※試作車のJIS規格（JIS D9115:2018）による測定パターンによる(エコモード1,000km、ミドルモード200km、ハイモード100km)

回生電動アシストシステムFEREMO™の特徴

走行中に回生(発電)して、
バッテリーを充電する頻度が低下するから

1. バッテリー交換の作業コスト削減
2. バッテリー寿命が長持ち



有事にも活躍するFEREMO™の発電と給電の機能
FEREMO™ SMART POWER

フィットネス発電モード(仮称) 開発中

自転車を移動可能な発電機として使える機能
1分走ればスマホの約10%の電力量を発電！
※３段階あるフィットネス発電モードの２で平地を時速10km走行した場合



給電アイテム 開発中

いざという時に非常用電源になる機能
平時にもモバイルバッテリーとして利用可能

USBアダプタ



FEREMO™の電池に装着
USB Type-Aポートから
給電可能にする
備えておけば安心なアイテム

**USB-PD
小型電池**



USB Type-Cポートから
充電・給電が可能な
モバイルアイテム



※USBアダプタは来春発売予定、USB-PD小型電池は2025年末頃発売予定です。
※フィットネス発電モード、給電アイテムは開発中につき、名称や機能が変更になる場合がございます。
※「FEREMO」、「 」は、日本およびその他の国における太陽誘電株式会社の登録商標または商標です。

展開モビリティ

MOBILITY WE ARE DEVELOPING



電動アシスト自転車　スポーツタイプe-Bike　電動サイクル

HELLO CYCLING

展開エリア

シェアモビリティ全国ステーション 8,000ヵ所以上!

120自治体様以上および70企業様以上が参画中!（2024年5月現在）



北海道エリア

〔民間運営パートナー〕
北海道エネルギー株式会社

関東エリア

〔協定締結自治体及び運営自治体〕
板橋区、台東区、荒川区、墨田区、足立区、江戸川区、世田谷区、福城市、調布市、国分寺市、小平市、国立市、府中市、八王子市、杉並区、立川市、福生市、さいたま市、川越市、朝霞市、和光市、所沢市、草加市、川口市、新座市、志木市、川崎市、横浜市、横須賀市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、鎌倉市、大磯町、逗子市、千葉市、習志野市、船橋市、筑西市、八潮市、戸田市、富士見市、ふじみ野市、町田市、二宮町、寒川町、綾馬区、相模原市、海老名市、市川市、三鷹市、葛飾区、武蔵村山市、狛江市、etc.

〔民間運営パートナー〕
シナネンモビリティ＋株式会社、ENEOS株式会社、江ノ島電鉄株式会社、トヨタモビリティ東京株式会社、株式会社アトレ、サイカパーキング株式会社、株式会社サイクルスポット、株式会社ソーリン一般社団法人美園タウンマネジメント、株式会社フィル・カンパニー、株式会社ベルシェアリング、etc.

〔オリジナルブランド〕

中国・四国エリア

〔協定締結自治体及び運営自治体〕
小豆島町、土庄町、高松市、松山市 etc.

〔民間運営パートナー〕
一般社団法人小豆島・瀬戸内エリアマネジメント協会、株式会社わっか、株式会社三福快適生活

九州エリア

〔協定締結自治体及び運営自治体〕
北九州市、佐賀市、鹿島市、人吉市、etc.

〔民間運営パートナー〕
株式会社ミクニ、つばめタクシー

〔オリジナルブランド〕

沖縄エリア

〔協定締結自治体及び運営自治体〕
那覇市、浦添市、宜野湾市、中城村、etc.

〔民間運営パートナー〕
株式会社プロトソリューション、株式会社沖縄ヤマハ、株式会社スカイツアーズ

〔オリジナルブランド〕

近畿エリア

〔協定締結自治体及び運営自治体〕
大阪市 池田市、豊中市、堺市、吹田市、西宮市、尼崎市、京都市、長岡京市、向日市、松原市、摂津市、東大阪市、etc.

〔民間運営パートナー〕
シナネンモビリティ＋株式会社、サイカパーキング株式会社、株式会社あさひ、株式会社阪神ステーションネット、etc.

〔オリジナルブランド〕

中部エリア

〔協定締結自治体及び運営自治体〕
静岡市、三島市、沼津市、藤枝市、長泉町、松本市、安曇野市、岡崎市、名古屋市、多治見市、伊豆の国市、恵那市、妙高市、etc.

〔民間運営パートナー〕
株式会社TOKAIケーブルネットワーク、加和太建設株式会社、一般社団法人安曇野市観光協会、株式会社まちづくり藤枝、株式会社エネファント、etc.

〔オリジナルブランド〕

展開事例



コンビニエンスストア



自治体



大学



鉄道駅前

オリジナルブランド

ダイチャリ / ベトノイサイクル / PULCLE / CYCY!! OKINAWA / SHONAN PEDAL / ミクチャリ / MY BIKE / いずなかシェアリング / Hilcycling / MK PEDAL / みとチャリ / MaaS Cycle / SUNAUTAS MOBILITY / 関鉄Pedal / スルガンサイクル

シェアードモビリティプラットフォームを展開するOpenStreetでは

一緒に街の移動を支えるパートナーを募集しています。

1 シェアードモビリティ運営者としての参画

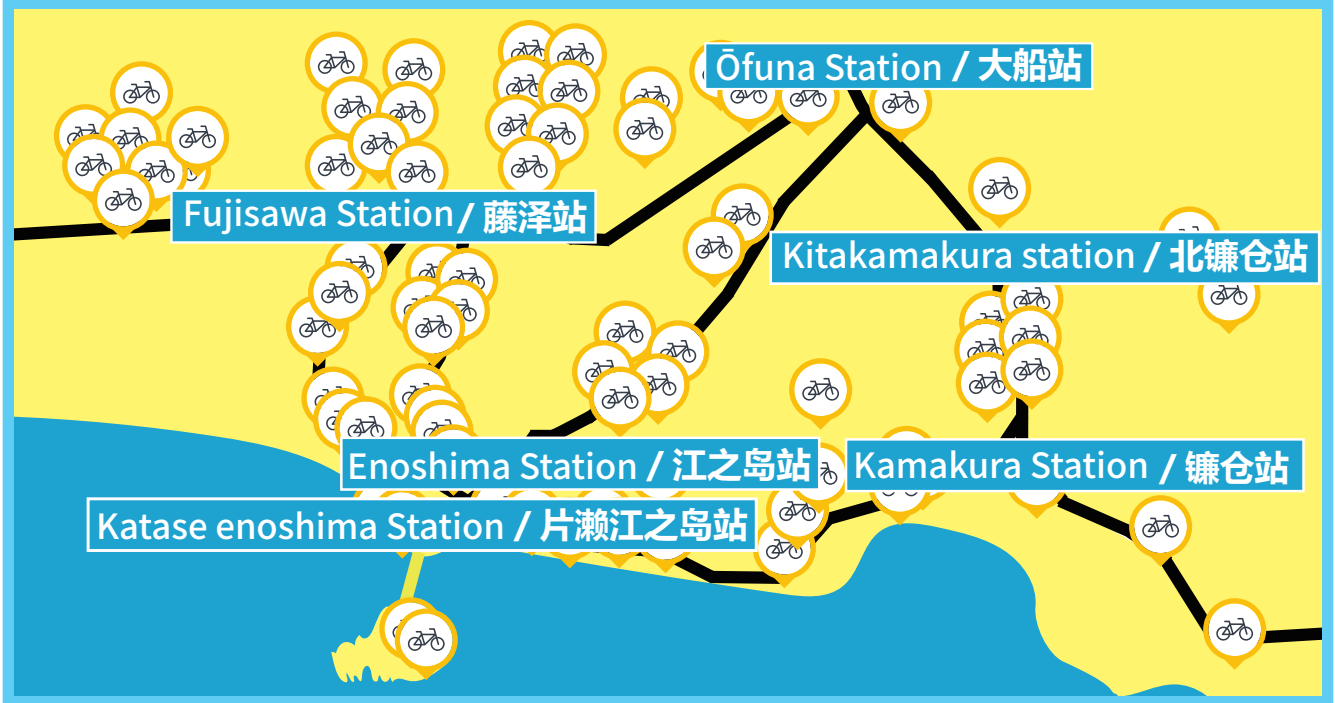
2 ステーション用地提供者としての参画

3 メンテナンス事業者としての参画

HELLO CYCLING × Alipay

共享单车

让您的旅行非凡启程！



江之电沿线的 50+ 车站，随心租还！

支付宝一键搞定全程便捷！

详情操作请打开支付宝！



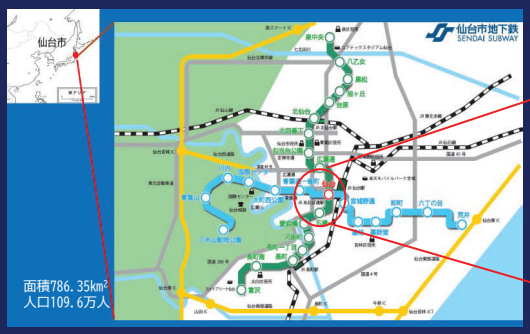
如何使用



仙台市中心部における交通環境に関する研究Ⅰ
ーシェアサイクル等の現状と展望ー

㈱ケー・シー・エス コンサルティング事業部　顧問　岩崎 裕直

全体から





仙台市中心部の交通環境を考える背景(鉄道＆路線バス)

中心部での移動は私事買物目的の徒歩が多い

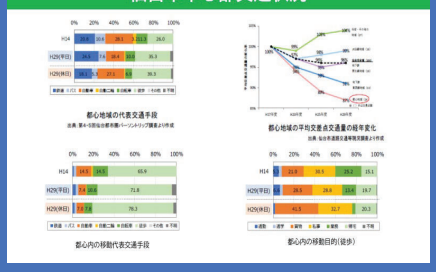
仙台市中心部鉄道駅配置状況



仙台市中心部バス路線



仙台市中心部交通状況



仙台市中心部の自転車利用環境

中心部の自転車利用環境は改善している

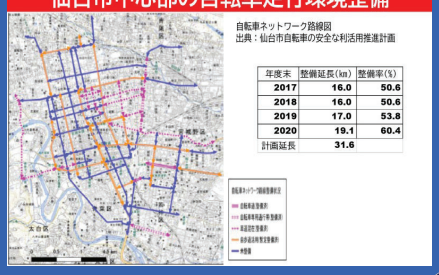
仙台市中心部都市計画道路整備状況



仙台市中心部の駐輪環境と放置自転車



仙台市中心部の自転車走行環境整備



シェアサイクルの進展状況

中心部にて事業開始し10年経て着実に進展している

㈱ドコモ・バイクシェア(2013年~)





㈱Luup(2024年~)





まとめ

- 市中心部の交通環境は一定の整備がなされているが、最近電動キックボードなど新たなシェアサイクル事業者が躍進している状況から、ラストワンマイルと言われる比較的短距離短時間の移動手段にニーズがあることが判る。
- 特に若い世代に環境志向や免許不要の移動手段に人気がある。
- なお、シェアサイクル利用の仕方や利用者の属性によって事業者間の棲み分けがなされているとみられる。
- 今後の研究では、ウォーカブルなまちなかなどまちづくりや都市開発との関連からシェアサイクルのあり方について取上げる予定である。

LUUP

マイクロモビリティのシェアリングサービス「Luup」

ナビ機能で利用者の安全な走行をサポート

株式会社Luup 渉外部　池上翔





LUUPとは

「LUUP」は、”街じゅうを「駅前化」するインフラをつくる”ことをミッションに、2020年5月から電動アシスト自転車を、2021年4月からは電動キックボード（のちの特定小型原動機付自転車）のシェアリングを提供。

日本の道路や都市環境に合わせたコンパクトな車両設計と、利用開始時に目的地ポートの返却枠を予約し、かつ返却時には枠線内に停めた車両の写真撮影を必須にすることでラックを不要に。これら独自のサービス設計によって、ポートの超高密度化を実現。9月末現在、全国に9,600箇所以上のポートで、合計30,000台近い車両を提供。

1 特定小型原動機付自転車の交通違反の現状

2023年7月に改正道路交通法が施行され、一定の基準を満たす電動キックボードをはじめとする各種電動マイクロモビリティは、16歳以上であれば免許なしで乗ることができる「特定小型原動機付自転車」という新たな枠組みに位置付けられた。

法改正に合わせ、LUUPではアカウント登録時に交通ルールテスト（全11問、連続正解必須）の実施や、ライド直前の注意喚起などを強化。

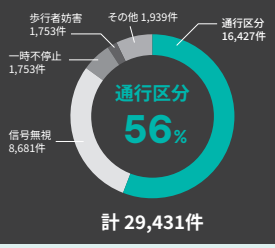
警察庁の発表によると交通違反の件数は法改正以来、人々の利用増加とともに増え続け、令和6年7月末時点で全国の総検挙件数は約30,000件、うち半数以上が通行区分違反（時速20kmで走行できる状態での歩道走行）とされている。

ライド直前の注意喚起



特定小型原動機付自転車の検挙件数（違反類型別）

警察庁発表データ 2023.7〜2024.7



計 29,431件

2 違反をしてしまう状況の回避に向けて

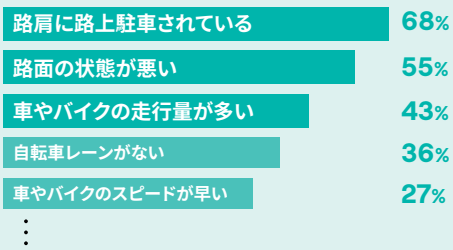
交通違反対策としてはこれまでも、飲酒運転等の悪質な交通違反をする利用者のアカウントを凍結するといった方策は実施。しかしそれだけでは限界があり、厳罰化とは別のアプローチでの解決策を模索。

利用者へのインタビューを行う中で、事故に遭いそうになる状況、あるいは思わず歩道に乗り上げてしまう状況が、幹線道路で一定発生していることを把握。

具体的には、路上駐車している自動車を回避する際の接触や、走行車両が多いという恐怖心から歩道に進入してしまうという行為が生じていることが判明。利用者向けに実施したアンケートでも、同様の結果に。

幹線道路を通るという物理的な状況を排除することで、交通違反や一部の交通事故を減らすことに期待し、方策の検討を開始。

Q. 自転車や電動キックボードで車道を走りづらいと感じた理由はなんですか？



3 安全な走行をサポートする「ナビ機能」を搭載（※シェアサイクル業界で初の取り組み）

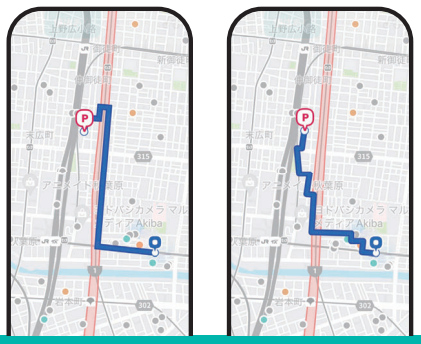
利用にあたって、車両の目的地ポートを指定し、かつ返却枠を予約しないといけない独自のサービス設計を活かし、返却先である目的地ポートまでの道順を案内するナビ機能の搭載を試験提供。

特定小型原動機付自転車は自転車の交通ルールと共通点が多いことから、株式会社ナビタイムジャパンの協力のもと、自転車の走行に適した経路検索技術を活用。電動アシスト自転車の利用時を含め、目的地ポートまでの推奨ルートがアプリ内で表示される機能を開発。

交通規制や道幅など自転車特有の情報を考慮し、自転車が通行可能なルートが表示されるのが特徴。経路の距離・所要時間・道路の幅や勾配などのバランスを考慮して算出された推奨ルートを提案。

これにより、交通量が多い車道での走行の危険を回避するために歩道に乗り上げる利用者が減少し、「快適なルートで移動すると、利用者・歩行者双方にとって、結果的に安全な走行になる」ことを目指す。

従来のマップアプリ　　LUUP



4 一定の効果を検証し、全国へ展開

2024年4月から、東京都内でのサービス利用へ試験的に導入。利用直後に利用者へ行ったアンケートでは、LUUPをはじめて使用したという利用者のうち約7割が、ルート情報は参考になったと回答。

2回目以降の利用者でも、すでに知った道を走行する傾向もあるものの、約6割が参考になったと回答。これまでは別の地図アプリを開いていた利用者からも、便利であるという評価をいただいている。

Q. ルート情報は参考になりましたか？



5 順次、全国で実装予定

試験提供を踏まえ、順次全国での提供を開始予定。同時に、得られた様々なフィードバックを参考に、より特定小型原動機付自転車の走行に適した走行ルートの検証も継続的に実施していく。